

JAMトピックス

2015年度
政策・制度要求
中央討論集

藤川しんいちの政策を討議

JAMは政策・制度要求実現へ向けた討論集会を2015年6月14-15の両日、全国から300人を超える単組役員、地方執行委員などが集まり熱海市で開かれた。この討論集会の主要議題は来夏の参議院議員選挙にJAMが擁立する藤川しんいち氏にどのような政策に取り組んでもらうかを討議すること。このため、通常は分科会とするところを四つの分散会とし、職場と家庭を取り巻く課題を切り口に必要な政策や社会のしくみについて議論した。



<35万人が団結すれば藤川候補を国会に送り出せる>

あいさつに立った真中JAM会長は、4つの分散会で藤川しんいち氏にどのような政策に取り組んでもらいたいか議論し、来年の参議院議員選挙でJAM35万人が団結すれば、必ず勝てると檄を飛ばした。

全体討論の中では、女性の働き方と雇用について、トイレ、制服、重量物の取り扱いなど女性が職場に入る時に問題になるが、本来女性が安心・安全である職場は、男性にとっても安全・安心な職場だとの指摘もされた。



<全体集会和分散会で政策を議論した>

また、JAMの代表としての議員の基本的な考え方は中小ものづくり、労働者とその家族を守る唯一無二の存在。法的な面では労働法の改悪は、中小労働者が一番大変な思いをすることにつながりかねない。残業代ゼロ、派遣法は世界の統一ルールから大きく逸脱している。同一労働同一価値賃金がなければ、今回の法律では正規社員がどんどん置き換わっていく。ブラック対策、最低賃金の問題、円安、人材確保などで一番困っているのは中小ものづくり産業だと思う。以上の点にスポットを当てて政策を練り上げてもらいたいと要望が出された。



<さらに地方へ出向いて要望を聞くと語る藤川氏>

議論を受けて藤川しんいち氏は、日本は先進国でありながら、貧困問題がクローズアップされている。不条理な格差が蔓延している。富の再配分をおこなって、格差をなくすことが政治の役割である。ブラック企業対策、中小企業でも時給1,000円を払える環境づくり、正規と非正規では同一（価値）労働同一賃金、社会保障では税の再配分としての育児・介護、困った時のお互い様と言える社会の実現、ものづくり人材の育成などがこの討論集会の中で政策として挙げられていたと語り、さらにこれから各地方・単組に入って皆さんの声を聞いていくと述べた。

この集会で議論された内容は、今後、政治政策委員会で整理され、藤川しんいち氏の政策として取り組まれる。